

2013 Expert Collection

4月号 通巻第343号



株式会社
エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in Japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

2013~2014 新カタログの表紙が変わりました。

撮影者 渋谷雅弘(やまのかたりベメンバース)
期日と場所 2012年7月22日 裏高尾城山
題名 「霧の城山」

2013~2014

すべての商品に **Made in Japan** 表示つき

EX'PERT COLLECTION

新カタログは2013年3月1日付で発行します。出荷の際に1部につき1部づつ同送します。
電子カタログにつき、それ以上の依頼には応じられません。
ユーザーには郵送料を含め、1部500円で御買取りいただきます。
撮影者の渋谷君「はるかたりの山」は「清酒八海山1.8」を1本差し上げました。



旧クロモリ 5Pset (ST5)、旧トルペアー世 set (ST9)
完売につき終了しました。

平成 25 年度スノーシューズ増産計画

今季は降雪が多いためにスノーシューズが実によく売れました。造るそばから出荷することも、しばしばです。1月には注文残を数日後に出荷したりして急場しのぎをするありさまです。

増産分として2月にMサイズを 400set、Lサイズを 950set 発注しましたが、材料の供給が間に合いません。

例年、3月迄売れる商品です。2月増産分は昨年 12 月に手配をすませ、3月増産分としてMサイズ 500set の発注をかけようとしたのですが、3月からは電気料金高騰の影響でアルミ製品が大幅値上げすると予告されました。シーズン途中での商品値上げは業界に多大な迷惑をかけます。

上記理由にて平成25年度スノーシューズは2月増産分で終了とさせていただきます。

お約束通り、注文頂いた順に出荷をさせていただきます。

平成 25 年 2 月 20 日付のスノーシューズ在庫数は下記の通りです。

(SN15) 旧型スノーシューズS	在庫数	1set	
(SN16) NEWスノーシューズS	在庫数	101set	
(SN3) スノーシューズM	在庫数	0set	(完売いたしました)
(SN4) スノーシューズL	在庫数	320set	



NEW スノーシューズS (SN16)

2012 年 エキスパート オブ ジャパンいいものブランド 売れ筋商品を売上順に 12 品目を紹介します。

1. スノーシューズS、M、Lシリーズ エキスパート型固定バンド含む (SN16、3、4、18)
2. SP(超)リトルベア社 set (ST31)
3. クロモリ8P、10P、12P社 set (ST11、12、13)
4. レッドバットシリーズ (SN11、12、13)
5. プチドラゴンシリーズ (ST26)
6. ベルシリーズ (C11、16、17、18)
7. クロモリピンペグ、クロスペグシリーズ (C4、5、6、10)
8. 3段ピックステッキ (S10)
9. 飛鳥シリーズ (P1、2、3)
10. ステッキストック用ピッケル用ラッセルリングシリーズ (S12、P5)
11. ワイヤー梯子シリーズ (CL15、16)
12. ピンチクリアー (CL17)

得意先によって売れ筋商品が違います。A店で頻繁に注文あってもB店からはまったく無い商品もあります。物造りのメーカーは生産過剰にならぬよう、また不足にならぬよう在庫管理を慎重に行っています。

◆山を愛する気持ちから生まれる製品たち

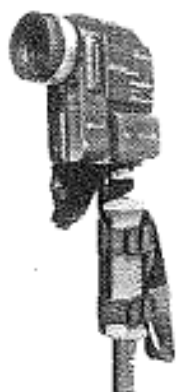
登山人口は約500万人とも1,000万人ともいわれており、そのほとんどが中高年を中心とした世代で占められています。都会の息苦しさから逃れて大自然に心のゆとりを求めようと、中高年を中心に軽登山や野山を歩くトレッキングがブームになっています。登山装備・道具の専門メーカーであるエキスパート・オブ・ジャパンは、そんな登山愛好家をサポートし続けてきました。今や軽登山やハイキングでも必需品であるステッキは、握力の弱い中高年層でも長さ調整がしやすく、確実にロックできるラチェット式を採用している。日本の登山をより楽しむために、その製品を使う側に立って開発し続けている。今のように登山装備・道具がなかった時代から自社でオリジナルの製品を製造し、社長自ら登山でテストを繰り返してきた。現在、国内有名登山用品専門店300店舗以上で購入することができる。また、アイゼンに関しては、今では“Made in Japan”のオンリーワンメーカーである。

◆機能を追及すれば美になる

登山ブームとはいえ、登山業界を取り巻く環境は厳しいのが現実である。欧米の有名メーカーですら中国や東南アジアでOEMされた商品を販売し、価格競争も激化している。そんな中で、製品を金型から作り、既存の海外メーカーとは違った商品開発、デザインをし、全ての製品に対して、実用新案、意匠登録をしているエキスパート・オブ・ジャパンはさらなる飛躍を続けている。他メーカーでは見られなかった斬新的なカラーデザインは、社長のみならず社員全員の意見が反映されている。

Made in Chinaや東南アジアの商品に比べると値段は確かに高いが、機能・性能面での差を比べればその真の価値が分かります、と営業担当者は自社商品に対しての絶対の自信を持っている。ただ、今までの受身的だった営業活動のせいで真の価値をエンドユーザーまで伝えることができなかったと言う。商品の陳列の仕方やPOPの作成まで、実際にエンドユーザーの目に留まり、より多くの人が製品を手にしてくれるよう、今では「提案型」の営業に力を入れ、販売促進をしている。もちろん店舗だけにとどまらずインターネットでの販路拡大も視野に入れ





営業展開をしている。

商品のバリエーションにも新たな営業展開が見受けられる。これまでの商品はどちらかというとな格的な登山愛好家向けのものであった。しかし、昨今の軽登山やトレッキングブームまた中高年の健康ブームも合わさって、新商品の開発も盛んに行われている。登山靴のみに対応していたポケットドラゴンにも新しい仲間ができ、ウォーキングシューズにも対応したプチドラゴンや、あらゆるステッキ、ストックに使用できるカメラの「脚用ア

タッチメントALIEN#4など、あらゆるアウトドアシーンで活躍する商品などがある。また、ナップザックに鈴をつけているハイカーを見たことはないだろうか？ 登山用鈴は熊避け目的にとどまらず、近くに登山者が存在するという信号になります。

「鈴掛&Bell」は年々改良を重ね、サイズもバリエーションに富み、今ではハイキング時だけでなくその美しい音色からドアベルとして使用している人も多いそうだ。

◆山、そして商品へのこだわり

“山仲間全国にいますよ”、日本山岳会の会員でもある石井社長は小学校五年の夏に八ヶ岳の編笠山に登って以来、山から離れられなくなり今日にいたっている。山に関する著書も多く、現在でも、毎月配信している「エキスパート・コレクション」にて自社の新着情報とともに各地の紀行文を綴っている。山を愛する気持ち、山をもっと身近に感じてほしいという思いが、商品説明やウィットでユーモア溢れる紀行文から読み取れる。気軽に楽しめるハイキング、エコツアー、自然散策などに参加する人だって山を愛する気持ちに変わらないう。エキスパート・オブ・ジャパンの製品が今後そのような層にもっと浸透するように頑張っていきたいと言う。

まさに社長の山旅の歴史は、エキスパート・オブ・ジャパンの歴史そのものである。



会社名	株式会社 エキスパート・オブ・ジャパン 川口営業所		
代表者	石井 貞男	業 種	スポーツ用品製造・卸売
所在地	川口市榛松699		
電 話	048-281-1322	ファックス	048-286-0866
URL	http://www.exp-japan.jp/		

平成18年度川口の元気な企業に認定された際の弊社内容です。
(財)川口産業振興公社

**1月21日(高尾を登った翌日です)
弊社社長と専務が認定式に出席しました。**

平成24年度川口i-monoブランドに認定されました。

平成21年度から川口商工会議所では、川口市や川口産業振興公社等と連携して、川口i-mono(いいもの)ブランド認定制度を創設しました

川口市の地域特性を生かし、優れたものづくりブランド力を有する製品(自社製品・部品)をKAWAGUCHI i-mono(いいもの)として認定し、展示会や広報との支援活動を行うとともに地域企業の販路拡大及び品質の向上を図り、本市のイメージアップを目指した事業です。

川口市は、鋳物や機械、木型などのモノづくり産業が基幹産業となり、市勢の発展に大きな役割を果たしてきました。歴史と伝統を誇るこれらの産業は、今日においても高い技術力を生かしながら優れた製品をつくり出し、モノづくり都市としてのブランドを守る中心的な存在となっています。

現在、当地の産業を取り巻く環境は、一段と厳しさを増している状況ですが、地域の強みとも言うべき「ものづくり」を守り、その価値を高めるための施策を講じることは商工会議所に課せられた使命であると言えます。

・プチドラゴンとSP(超)リトルベアー社 set が認定されました。

・平成25年1月21日 川口市商工会議所にて認定式が行われました。弊社社長及び専務出席。

「『いいものブランド』に12製品
川口会議所
「さいたま」埼玉県の川口商工会議所は21日、川口i-mono(いいもの)ブランドの2012年度認定品に、エキスパートオブジャパンの「プチドラゴン/リトルベアーシリーズ」など川口市内の事業者が手がける12点の製品を選んだと発表した。同会議所は09年度にブランド認定を開始。今回で認定品は計33点となった。

1月22日発行 日刊工業新聞より弊社関連記事転載



認定式にて



SP(超)リトルベアー社set



プチドラゴン

○立派な盾と表彰状をいただき、日刊工業新聞、日本経済新聞、埼玉新聞、ケーブルTVなどにも紹介されました。

やまのかたりべ

第30章 甲州古道と東海自然歩道

八王子市の小仏から小仏峠を越えて神奈川県相模湖町へ抜ける山道を甲州古道と称する。高尾山では、最も古い山道で、江戸と甲府を結ぶ街道として多くの人々に歩かれた史実がある。

今回は甲州古道を歩く予定でいたが、願いかなわず、昨年10月21日に歩いた東海自然歩道を下降路にとってしまう。

しょうがない。甲州古道は日を改めて歩くとしよう。

雪の城山越え

平成25年1月14日の関東地方は7年ぶりの大雪に見舞われる。平野部の積雪は5cm以上。交通はマヒし、帰宅困難者、怪我人が続出、死者も出る始末。

八王子でも降雪に難儀していると報道される。これでは高尾山に大雪が降らない訳はない。

新型アイゼンのフィールドテストにはもってこいだが、アクシデントに会わぬよう防寒と雪対策は入念にして旅にでる。

1月20日 終日快晴

前夜はいつものように八王子のホテル泊り。モーニングコールで目覚める。集合時間を見計らって八王子駅で高尾駅行きの中央線に乗るのもいつもと同じ。

高尾駅北口改札前で同行の渋谷、安達と合流。3人は駅前のバス停で小仏行きのバスを待つ。

1月だというのにバスに乗りきれないほど多くのハイカーが列に並ぶ。増発されたバスに運よく座れてほっとする。

小仏バス停は4cmほどの残雪に覆われていた。渋谷はプチドラゴン、石井は試作品のアイゼンを装着。身支度も整える。

日当たりのよいところでは地面が露出しているが、日影では登るにつれて残雪量が増す。

景信山登山口を右に見送り、しばらく行くと車道奥端にでる。そこから先は道幅が狭まる。

雪原が広がる小仏峠に着いて小休止する。ここでは景信山から高尾へ向かうパーティ、高尾から陣馬を目指す人々、小仏へ下るハイカーが交差する。甲州古道は近いはず。だが、取付きを見落とし、城山目掛けてひたすら前進する。

途中で不安になって地図を広げる。

「これで いいんだよ」

老眼で地図が読めない3人はふたたび城山を目指す。

睦月には
雪ふみ わけた
城山で
ましろき 富士の
絶景のぞむ



小仏峠

城山のベンチに座り、名物のなめこ汁、おでん、お酒まで賞味してランチタイムを過ごす。すぐそばには茶店が飼う猫が気持ちよさそうにうたたねをしながら、城山周辺の積雪20cm。

東海自然歩道は通行するパーティが多らしく、トレールがくつきり残っている。上部では無雪期よりも歩きやすい。雪が少なくなったあたりでアイゼンを外す。

下るにつれて歩きやすい道に変わる。

富士見茶屋前で車道にであい、渋谷はプチドラゴンをザックにしまいながら笑う。

「おかげでスリップせずに降りられた」

試作品のアイゼンは、いずれ弊社の主力商品になろう。

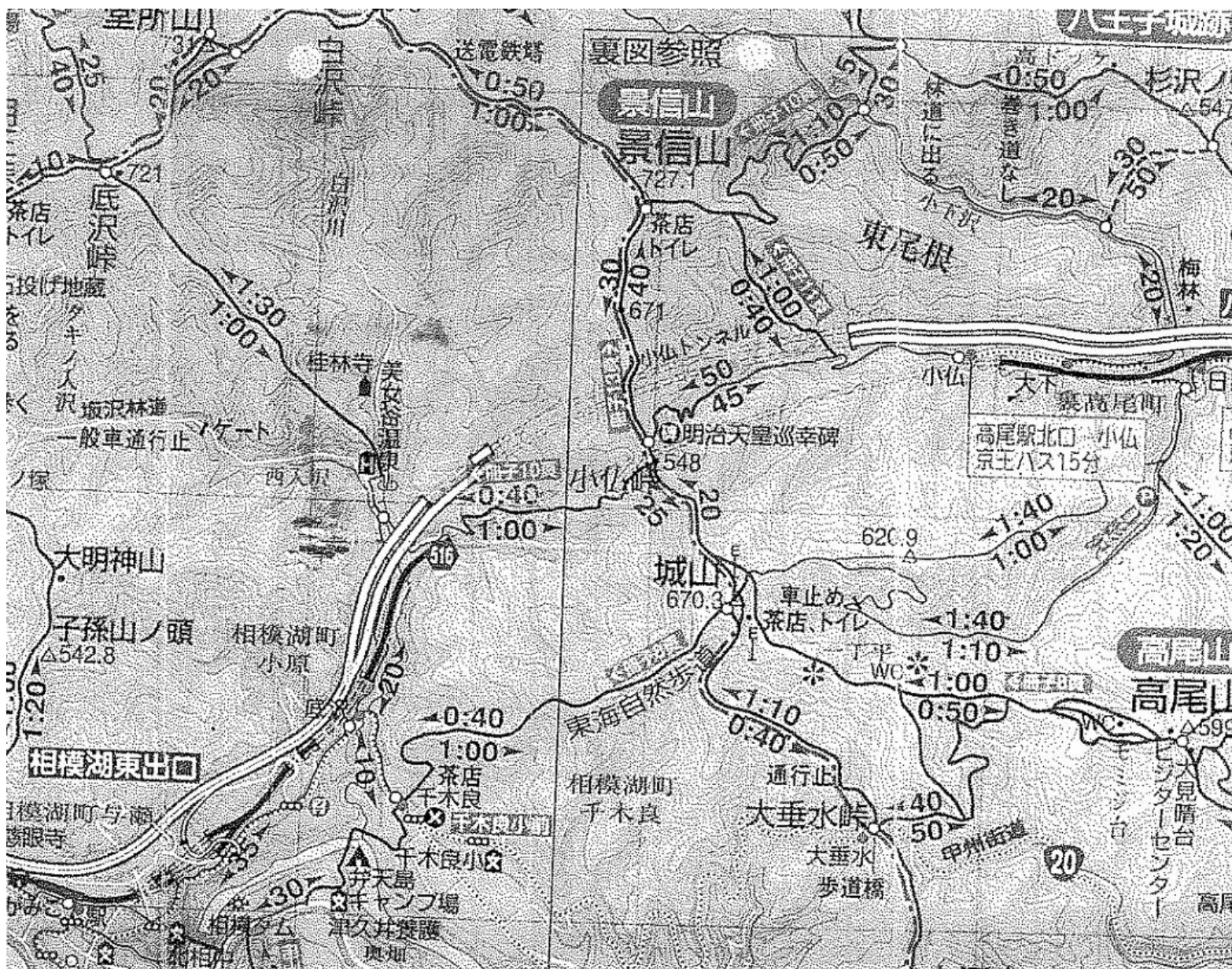
富士見茶屋前を左方に向かい、最初の分岐を右折して直進する。R20の右手に相模湖駅行きの千木良バス停がたたずむ。

その間、5分。バスは 10 分ほどで終点相模湖駅へと運んでくれる。

タイム

八王子駅(中央線)	8:26	富士見茶屋	14:20
高尾駅(バス)	8:34~9:10	千木良バス停 (神奈中バス)	14:30~14:45
小仏	9:30~9:50	相模湖駅	14:55~15:00
景信山登山口	10:04	高尾駅(宴会)	15:10~17:40
車道奥端	10:25	川口帰社	20:45
小仏峠	11:15~11:25		
城山	12:15~13:00		

パーティ 渋谷、安達、石井



記録、紀行、そしてエッセー

記録 のちのちに伝える必要から、事実を書き記すこと。「また、その文書。特に史料としての日記、部類記の類。「克明に_____する。」

紀行 旅行中のできごと、見分、感想などを記したもの。文学作品の一分野ともされる。わが国では和歌、俳句、漢詩などをまじえたものがある。「土佐日記」がその初め。

エッセー 随筆、自由な形式で書かれた思索的色彩の濃い散文。試論、小論。

(広辞苑より)

「やまのかたりべ」はやまとうたを一首そえているので、勝手に紀行文と呼んでいる。しかし、その文章を見た人には史料として使える要素を多分に残している。

山を歩きながら、特に気づいたことを手帳にメモをする。帰宅して忘れないうちに文章を綴る。コースタイムは参考資料として各々の文の最後に添えるが、文体は別に決めていない。

その時の気分で好きなように書き記している。

かたりべは
山を尊び
言葉で遊ぶ
下山の宴は
俗世のならい



城山の茶店にて

自由な形式で書いた文章をエッセーとすれば、エッセー的要素もあるかも知れない。さすれば私はエッセーリスト。どうでも、いいけど。冗談多いぜえ。

便利なニッポン レッドバットシリーズ

- レッドバットはピックルのシャフトにセットできます。その際は石突きの穴にスコップ柄部分のボルトをはめて蝶ボルトを締めて下さい。**最新型の細身のピックルシャフトにもセットできます**
- レッドバッド用シャフトはスノーハーケンとしても利用できる。スノーソーをラチェットで固定して柄にもなります。雪堀り能力がアップするD型グリップ付き。
- スノーソーは単体でも使え、レッドバッド用シャフトと組み合わせることで、さらに便利に使用できます。レッドバッド用シャフトに収納でき、ラチェットをレッドバッド用シャフト先端の穴に入れることで、簡単にセットできます。



**機能美追求
レッドバット (SN11)**
ジュラルミン製 カラー:ピンク
サイズ:222 mm×258 mm
重量:365g
税込価格:¥5,460



**多目的
レッドバッド用シャフト (SN12)**
ジュラルミン製 カラー:ブルー
長さ:54 cm 重量:275g
シャフト上部の6mmローブを通す穴はスノーハーケン用。
税込価格:¥5,250



**氷も切れる
レッドバッド用
スノーソー (SN13)**

特殊鋼(SK-5)製
カラー:ブラウン(赤色焼付塗装)
サイズ:405 mm×25 mm 重量:115g
レッドバッド用シャフトに収納でき、シャフトが柄にもなるラチェットつき。氷・雪用鋸。
税込価格:¥4,830